土・ひと・くらしをつなぐ、香川の交流誌

# きらり

JA香川県
～農業と地域に全力投球～

2
2023 FEBRUARY

ふっくら、蕾がほころんで
一足お先に春、満開！

香川県産
花き
応援特集

【あぐり SPECIAL】
高い栽培技術で育む品質が自慢です！
「香川の花」を
贈りましょう。飾りましょう。

【らいふSPECIAL】
「香川の花」で素敵に
難しくない！
フラワーアレンジメント入門

JA香川県は
自己改革に
取り組んでいます！
農業者の所得増大
農業生産の拡大
地域の活性化

香川県産 花き 応援特集 I

## 高い栽培技術で育む品質が自慢です！

# 「香川の花」を贈りましょう。飾りましょう。

まだまだ寒い日は続きますが、一歩一歩、春へと近づく季節。
2月のバレンタインデーにはじまり、3月のホワイトデー、卒業式などイベントが続きます。
そして後半になるとそろそろ卒業式の話題も聞こえてきます。
そんな折々に、鮮やかに咲き誇る花たちが文字通り華を添えたり、
気持ちを伝えたりしてくれます。
野菜や果物と同じように、花きも香川県農業を支える大切な農産物です。
この機会に、“花の地産地消”を楽しみながら考えてみませんか。

# 「香川の花」は県民みんなの財産。生産者と消費者の好循環を築くために。

温暖な香川県では、国内有数の歴史と技術をもつキク栽培をはじめ、多くの地域で古くから花き栽培が盛んです。良質な花きを出荷する生産者が多く、県内外の市場で高い評価を得ています。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行によって、卒業式やイベント、冠婚葬祭などの中止や縮小が長期間続き、県内の花き生産者は多大な影響を受けました。さらに、燃料費や肥料、資材などの価格高騰により、施設栽培が主流の花き栽培は依然として厳しい状況にあります。

そこで今回は、香川県産花き栽培の支援や販売、消費拡大の取り組みなどを当JAや生産者などと連携して行っている、香川県農業生産流通課の花き担当者にお話を聞きました。

香川県農政水産部農業生産流通課
花き・盆栽グループ
主任技師
**櫨林（はぜばやし） 美穂（みほ）さん**
に聞きました。

## 香川県の花き栽培の現況は？

本県の花き栽培のうち切花類は、施設栽培が栽培面積の53％（令和2年）を占めています。主要品目は、キク、カーネーション、マーガレット、ラナンキュラス、ヒマワリ。ほかにも、キンギョソウ、デルフィニウム、ストック、ダリアなどが生産されています。近年の生産動向としては、消費者ニーズの多様化から、ラナンキュラスやキンギョソウが増加傾向にあり、多品目化が進んでいます。

出荷先は、京阪神市場を中心に県内や近県などです。キクはほぼ通年出荷ですが、秋から春を中心に出荷の花が多いのが本県花き栽培の特徴といえます。

## 主要品目ごとの特徴、取り組みは？

まず、本県を代表する花きであるキクは、切花類の栽培面積の38％（令和2年）を占めます。燃油価格高騰の影響や後継者不足などにより出荷量、栽培面積ともに減少傾向にありますが、優良品種の導入などによる品質の向上、新技術の導入による生産性の向上に取り組んでいるほか、新たな商材の開発、物流の効率化などを推進しています。

カーネーションは、ほぼ全てが施設栽培で、生産コスト低減対策や日持ち性の向上などに取り組んでいます。また、県オリジナル品種「ミニティアラ」シリーズはこれまでにない花形が市場などから高い評価を得ており、ラインナップの充実を図っています。

主に三豊市で栽培されているマーガレットは、栽培面積が減少傾向にあるものの、全国第1位の生産量を誇ります。優良種苗供給体制の強化、日持ち性向上技術の検討、優良系統の選抜など、品質の安定化に努めています。

近年、本県で大きく伸びているのが、ラナンキュラスです。生産性の高い県オリジナル品種「てまり」シリーズの導入などにより栽培面積が拡大、令和元年には切花での出荷量全国2位となりました。カラーバリエーションや日持ち性技術の導入などにより、高い市場評価を得ています。

ヒマワリは、三豊市と高松市で主に栽培されています。耐病性品種など優良品種の導入実証や省力的な管理技術などの導入により、品質の安定化や栽培管理の省力化を図っています。

カーネーション
花言葉：「夢が叶う」「希望」
【出回時期】10月～6月

キク
花言葉：「高貴」「高尚」
【出回時期】通年

マーガレット
花言葉：「恋占い」「心に秘めた愛」
【出回時期】11月～5月中旬

ラナンキュラス
花言葉：「とても魅力的」
【出回時期】11月中旬～4月上旬

昨年の「第58回香川県花き品評会」の様子

## フラワーフェスティバルかがわ

毎年2月に開催される「フラワーフェスティバルかがわ」は、本県の花の祭典ともいえる大規模イベントです。コロナ禍により昨年は一般観覧中止となりましたが、今年は2月25, 26日の2日間、サンメッセ香川大展示場にて感染対策を徹底したうえで開催します。

県内の生産者や花き愛好家が出品した優れた品質の切り花・鉢花などを展示する「第59回香川県花き品評会」のほか、フラワーアレンジメントやハンギングバスケットなどの各種コンクールや園芸教室(要事前申し込み)、県内の花き生産者などによる切花や鉢花、花の苗などの即売コーナー「さぬき花市」、県産花きで「花いけ体験」ができるコーナーなど盛りだくさんです。

## 「花育」の推進

将来にわたって花きの消費を維持するために「花育」を推進しています。県内各地域で普及センターと花き生産者が中心となって、地元の保育園・小学校などの子どもたちに、ほ場見学、収穫体験などを実施し、地域農業者との交流を通じて花や緑にふれあい、花に関心を持つとともに、優しい心を育むことを目的としています。

## 「香川の花」はどこで買えるの?

花きは、ほかの農畜産物と違って小売りの店頭で原産地表示が義務付けられていません。「県産花きを買って応援したいけど難しいのでは?」と思う方もいるのでは。

そこで本県では、県産の花きを積極的に取り扱う生花店を「香川県産花き取扱協力店」として登録しています。

最新の店舗情報は、香川県ホームページで公開しています。

## 県としてのブランド力強化・消費拡大への取り組みは?

Sanuki San Flower
さぬき讃フラワー

## さぬき讃フラワー

本県で生産される花を、より多くの方に知ってもらいたい、利用してもらいたいという思いから、特色のある県産花きを「さぬき讃フラワー」と称して、一体的にPRを行っています。

平成31年には高松空港に特設ブースを設け
フラワーバレンタインをPRしました

## フラワーバレンタイン

2月14日は、バレンタインデー。日本では多くの人がチョコレートを贈りますが、実は多くの国で愛や感謝を伝えるために花を贈る風習があります。

そこで、県産花きの消費拡大の取り組みとして、生産者や生花店と連携してバレンタインデーに花を贈る「フラワーバレンタイン」を推進しています。

今年度は、「香川県産花き取扱協力店」においてPR活動を行います。また、高松市のことでん瓦町駅にフラワーモニュメントを2月10日から14日まで設置します。

## 全国高校生花いけバトル

日本の花文化をいまの時代にふさわしいかたちで育むために、「全国高校生花いけバトル」を開催しています。大会では、高校生(2人1組)が制限時間内に即興で花をいけ、勝敗を競います。全国大会は毎年、本県で開催されています。

【生産者訪問】

# 夫婦で力を合わせて、より美しく、「てまり」を咲かせます。

入江（いりえ）偉夫（よしお）さん（53歳）
香織（かおり）さん
【観音寺市大野原町】

ＪＡ香川県豊南地区営農センター管内では、「豊南地区花卉部会」に現在14名の生産者が所属し、キク、ラナンキュラス、ヒマワリ、ユリなどを出荷しています。

今回訪問した入江さんは、両親も現役のキク生産者。偉夫さんは20代後半で勤めを辞めて就農し、まずはお父さんからキク栽培の手ほどきを受けたそうです。

ところが、アレルギーを発症してしまい、別の花き栽培での独立を模索。その頃、地元の西讃農業改良普及センターの勧めで出合ったのが、ラナンキュラスでした。現在は、オリジナル品種の「てまり」シリーズを多品種栽培しています。

ラナンキュラスは球根性植物で、入江さんの場合、出荷時期は12月初旬から4月初旬。収穫後は葉を枯らしてから球根を掘り上げ、箱に移して保管した後、1か月ほど冷蔵して発芽させ、10月初旬に定植します。これと並行して別のハウスでは夏から秋に出荷できるヒマワリを栽培し、ほぼ周年出荷できる経営を確立しています。

ハウス内を見せてもらうと、一畝（うね）ごとに異なる品種のラナンキュラスが、整然と育っています。「てまり」シリーズは、さまざまな色があり、品種ごとに生育特性も異なるため、それぞれに応じた細かい管理が必要です。ＪＡ担当者によると「どの品種もこれほどきれいに作るのは相当難しいこと」なのだとか。

ラナンキュラスは、一株からどんどん蕾が上ってきて収穫できますが、出荷作物としては小さな蕾のうちに優劣を見分けて摘蕾します。また、市場出荷では茎の長さの規格が50㌢、40㌢、30㌢の3種類に決められているため、花姿や発色はもちろん、長さの十分な強い茎を育てることも求められます。「水や肥料の管理、ハウス内の日照や風通しにも気を使っていますね」と偉夫さん。園芸作物としての花は、高い技術力と努力の結晶であることに納得です。

「使っていない施設もあるので、できればもう少し規模を拡大してみたいですね」と前向きな偉夫さんと、「花が咲いたところを見つけると、毎年のことなのにすごく嬉しいです」と笑顔の香織さん。咲いた花姿はもちろん丸い蕾の形も魅力的な「てまり」シリーズは、今も新品種（新色）の育成が続いています。花き生産者にとっては挑戦しがいのある品目なのでしょう。

入江さんはラナンキュラスの一部を「Ａコープホウナン産直市」にも出品しています。「ラナンキュラスの切り花はよく水を吸うので毎日水を替えて、暖かくない場所に飾ればとても長持ちしますよ」と香織さん。昨年からは試験的にドライフラワーも作って出品しているそうなので、興味のある方は同店で探してみてくださいね。

入江さんが栽培する「てまり」シリーズの一部です！

香川県産
花き
応援特集
Ⅱ

# 「香川の花」で素敵に
# フラワーアレンジメント入門

難しくない！

玄関に、リビングのテーブルに、キッチンの窓辺などに
好きな花、季節の花を飾ると、毎日の生活に彩りと癒しが生まれますね。
花瓶に入れるだけでも素敵ですが、今回はちょっとがんばって
自分へのご褒美や、大切なあの方へのプレゼントに最適な
手作りのフラワーアレンジメントで、春を先取りしてみませんか？

**ユーカリ**
フラワーアレンジメントでは
葉物（グリーン）を上手く使うことが
成功のカギ！

**マーガレット**
清楚な白い花が
軽やかさをプラス。
“落ちない花”として
受験生への贈り物にも。

**デルフィニウム**
花材としては貴重な青系。
フリルのような華やかな花が
存在感たっぷり。

**ラナンキュラス**
県オリジナル品種
「てまり」シリーズ。
かわいい花姿に加え
色数の多さも魅力です。

**カーネーション**
可憐なスプレー咲きの
県オリジナル品種
「ミニティアラ」シリーズも
あります。

# フラワーアレンジメント入門講座

フレッシュミズ部会員の皆さんが体験しました！

今回、集まっていただいたのは、県内各地域のJA香川県女性部フレッシュミズ部会員6人とお子さん1人。皆さんが好きな花材を選んで、自由に生ける方式で講座を行いました。

「花の種類も本数も自由に選んでくださいね」と岡崎先生。ポイントはメインとサブの花を決めること、飾る場所を思い描くこと、そしてグリーン(ユーカリなど)を効果的に使うこと。「この花をいちばん目立たせたい！というものを決めると、全体のバランスがとりやすくなりますよ」。

教えてくれたのは…

**岡崎　敦子さん**

㈱日本フラワーデザイナー協会講師
労働大臣検定フラワー装飾一級技能士
高松市国分寺町で営む生花店は香川県花き取扱協力店に登録。フラワーアレンジメント講師としては、五感で楽しむ“花育”を実践しています。

## 用意するもの

- 吸水性スポンジ･･･初めてなら10㌢四方くらいが扱いやすいでしょう。花器の大きさに合わせて切り、水の中に浸けておきます。スポンジの角をカッターなどで落としておくと花が生けやすくなります。
- 花器
- 花用ハサミ

## 基本の生け方

（オールラウンド：テーブルの中央などに置いて、どこから見ても美しく見える生け方です）

まず、グリーンを全体にざっくりと刺す。

※茎の柔らかいものは根元を持って、やや深めに(2㌢位)刺し込む。

メインの花（一番目立たせたい、ポイントになる）を刺す。

※飾る場所に合わせて出来上がりの高さを決め、茎の長さを調整しましょう。

メインの花とのバランスを考えながら、サブの花を刺していく。

※時々、少し離れた位置から見てみましょう。

花と花のすき間やスポンジが見えている部分をグリーンなどで埋めて、完成！

# こんなに素敵にできました！

最初の花材選びでは苦心していた皆さんですが、岡崎先生の助言を受けながら作業を進めていくうちにコツをつかんで、出来あがりはこのとおり！それぞれの個性があふれる素敵な作品が完成しました。

最後に、岡崎先生から管理について「できるだけ涼しいところ、エアコンの温風が当たらないところに置いて、毎日スポンジに十分水を吸わせるようにすると長持ちしますよ」とアドバイス。そして、「花は姿だけでなく色や香りで私たちを癒してくれます。今回は吸水性スポンジを使ったアレンジメントを体験しましたが、花は花瓶に入れるだけでも楽しめます。空きビンを利用してもいいし、一輪からでもいいので、花に親しむ生活が多くの人の習慣になってくれると嬉しいです」とコメントをいただきました。

フラワーアレンジメント教室は、当ＪＡ女性部やフレッシュミズ部会の活動の中でも大人気。大勢で楽しんでみたい方は、教室を開いている地域もあるので、お近くの支店・出張所までお気軽にお問い合わせください。

JA香川県
きらり
2023 FEBRUARY NO.263
2
2023年2月号
（毎月1回発行）
ウェブサイト
https://www.kw-ja.or.jp/

野菜ソムリエプロのおすすめ

# 新・さぬき野菜料理

2月のおすすめ

ナバナ

## ナバナの豚肉チーズ巻き

### 材料［2人分］

- ナバナ……4本または6本
- 豚バラ肉……4枚
- スライスチーズ（溶けるタイプ）……1枚
- ニンニクすりおろし……小さじ½
- 塩・コショウ……各少々
- オリーブオイル……適量

### 作り方

❶鍋に湯を沸かしてナバナを30秒ほどゆで、しっかり絞って水気を切る。
❷豚バラ肉を2枚並べて、ニンニクを薄く塗り、塩・コショウをふる。
❸②の上にスライスチーズ1/2枚を全体にのせ、①の2本（または3本）に巻きつける。残りも同様に。
❹フライパンにオリーブオイルを熱し、③を転がしながら全面を焼く。
❺全体に焼き色がつけば完成。食べやすい大きさ（3〜4等分）に切る。

野菜ソムリエプロ
川村 章子 先生

プロフィール
野菜ソムリエプロ。野菜でキレイになる料理教室be-vege（ビーベジ）主宰。レシピ提案、商品開発、講演活動、食育事業や災害時の食の提案も行う。

春らしさを感じる菜の花は、食用のものをナバナと呼びます。少しほろ苦い独特の味わいの花蕾（つぼみ）と葉や茎を食べる野菜で、ビタミンCや食物繊維など栄養豊富です。香川県では「花かんざし」「花飾り」などの品種が県内全域で栽培され、12月から翌年の3月頃まで出荷されます。

店頭では、開花前の小さく締まったつぼみの状態のものを選びましょう。ちらし寿司、お吸い物、ゴマ和え、天ぷらなど、さまざまな料理で試してみてください。保存している間に少し花が開いても、食べることができます。最近流行している「エディブルフラワー」のように、ゆでた後、かわいらしい黄色の花を付け合わせに飾ってみてはいかがでしょうか。

JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。

## JA香川県WEBガイド

YouTube「JA香川県チャンネル」ではJA香川県女性部の皆さまに協力いただき、香川県の郷土料理を伝える動画を公開しています！ 昨年12月に「あんもち雑煮」を投稿し、今後も続々投稿予定です！ ぜひご視聴ください。

JA香川県チャンネル

### 編集後記

今月号の「きらり」は花満開！でお届けします。いかがでしょうか。2月はバレンタインデー、3月にはホワイトデー、卒業式など花を贈る機会がたくさんありますよね。この機会に生活に花を取り入れてみましょう。（M）

発行：香川県農業協同組合
〒760-0023 香川県高松市寿町一丁目3番6号
編集：総合企画部総合企画課 TEL 087-825-1233
印刷：株式会社 中央印刷